

「フューチャー・アース日本サミット」開催の提案

2019 年 2 月 27 日

国立環境研究所 江守正多・春日文子
総合地球環境学研究所 安成哲三・Hein Mallee
慶応義塾大学 蟹江憲史

2018 年 8 月にドイツのボンで行われた Future Earth (FE) Summit では、Global Research Projects (GRPs), Knowledge Action Networks (KANs), Governing Council, 国際事務局、Advisory Committee 共同議長が一同に会し、今後の戦略等について議論した。また、ドイツでは過去に 3 回の German FE Summit が行われている。

これらを参考に、日本の FE 関係者が一同に会して議論する「サミット」の開催を提案する。

想定される参加者（組織）：

1. フューチャー・アース日本委員会参加組織およびオブザーバー
 2. 日本学術会議 フューチャー・アースの連携と推進に関する委員会
 3. 日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会
 4. FE 国際事務局日本ハブ、FE アジア地域事務局
 5. JST RISTEX FE 構想の推進事業 採択プロジェクト、委員会
 6. FE 関連プロジェクト（未来洗浄研究会、Sleeping Financial Giants）幹事グループ
 7. その他に招待された専門家およびステークホルダー
- （1, 6 にはステークホルダー、2 には人文社会科学者、3 には GRPs, KANs 関係者が含まれる）

主な目的（案）：

日本の GRPs, KANs 関係者が、人文社会科学者およびステークホルダーを交えた議論を通じて、FE 研究の方向性やテーマを co-design する。以下の点に留意する。

- 2017 年に作成された Japan Strategic Research Agenda を下敷きにする。
- 国際 FE で議論されている Science for Earth System Targets への関わりを検討する。
- Belmont Forum その他、新しい予算機会への取組みを検討する。

実施方法（案）：

2019 年 11 月に、JST RISTEX の FE プロジェクトの報告会と併催して（たとえば、報告会の翌日に）実施する。その場合、会場は JST の会議室が候補となる。

現時点で旅費等の目途はない。関東圏外からは Skype 参加などの活用を検討か。

関連会合：

サミットに先立ち、GRPs, WCRP 間の学術的な連携を深め、人文社会科学者との予備的な意見交換を行うため、FE・WCRP 分科会主催のシンポジウムを 8 月前後に実施してはどうか。(FE・WCRP 分科会の委員長、幹事等により検討中)

以上